

年 月 日

血液・感染症内科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「 SARS-CoV2 流行時の造血幹細胞移植の幹細胞ソースの変化（特に臍帯血移植）の検討 」への協力をお願い

血液・感染症内科では、下記のような診療を受けた患者さんの情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2011 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日の間に、当科において、同種造血幹細胞移植を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2025 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：新型コロナウイルス感染症の流行下のような緊急時において同種造血幹細胞移植の幹細胞ソース（特に臍帯血移植）の件数がどのように変化したか調べる研究を行います。

研究に用いる試料・情報の項目：診断名、移植ソース：ドナー情報、移植細胞種類、移植年月、移植回数、一般身体所見：身長、体重、パフォーマンスステータス、血液検査：白血球数、ヘモグロビン、血小板数、骨髄検査：寛解の有無、有核細胞数、治療歴：化学療法、放射線治療、併存症、既往歴、有害事象、予後、転帰情報：生着、再発、生存、晩期障害の有無

研究に用いる試料・情報の利用又は提供を開始する予定日：2024 年 3 月 6 日

外部への試料・情報の提供：移植登録一元管理プログラム TRUMP のデータを用います。

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、代表機関である岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において一括審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。各共同研究機関においても研究機関の長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び共同研究機関に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究代表者

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
氏名：兼村 信宏

研究責任者

岐阜大学医学部附属病院 血液・感染症内科
氏名：兼村 信宏

共同研究機関等：

松波総合病院 内科 副部長 森下 哲司
自治医科大学分子病態治療研究センター 領域融合治療研究部 教授
血液科研究室長 分子病態治療研究センター兼任 仲宗根 秀樹
京都大学 血液腫瘍内科 講師 諫田 淳也

連絡先

岐阜大学医学部附属病院 輸血部
電話番号：058-230-6308
氏名：中村 信彦

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係
〒501-1194
岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1
Tel：058-230-6059
E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp